

所在地 / 〒158-0081 世田谷区深沢4-3-1

TEL / 03-5706-3301

学校長 / 前原 健二

創立 / 1947年、東京第一師範学校男子部
付属の中学校として開校。1952年、
現在地に移転。

URL / sechu.u-gaku.ac.jp/

	1年	2年	3年
男子	71名	72名	68名
女子	69名	69名	70名
クラス数	4組	4組	4組
総生徒数	419名 (中学校) 併設小から 約55%		



〈交通アクセス〉

東急東横線・大井町線「自由が丘」駅よりバス
10分 東急田園都市線「用賀」駅よりバス15
分 東急田園都市線「駒沢大学」駅より徒歩
25分

自由な校風の下、工夫を凝らした高水準の授業を展開

東京学芸大学の附属校として、教育に関する研究を進めるとともに、教育実習に協力しています。教育目標は「個性的で人間性豊かな人格をつくる」「創造性豊かな人間を育てる」「敬愛の精神にあふれた人間を育てる」の3つ。学校行事に生徒が自発的に取り組むなど、生徒の自主的な活動を大切にしています。自由な校風で、厳しい校則もなく、生徒一人ひとりがみずからの判断でモラルを守って行動しています。授業は教師手作りのプリントなど独自の教材を活用し、生徒の興味・意欲を引き出すさまざまな工夫がなされています。

スクールライフ

●教育内容

教科の学習では、基礎・基本を徹底させるとともに、野外学習や創作活動など、教科書の内容をさらに広げた応用・発展的な学習が行われます。特に教科の教育に力を注ぎ、教育方法の研究・開発が積極的に進められています。総合学習は「テーマ研究」と「教科総合」に分かれます。「テーマ研究」は、教師が設定したテーマのなかから、希望に合わせて選択・研究します。生徒たちを取り巻く今日的な課題などをもとに、教科の枠にとらわれない横断的、総合的な学習を行います。また、「教科総合」では、表現力や創造性を身につけるための学習を行うほか、国語や英語のスピーチコンテストといった教科行事も実施しています。さらに、生活学習として、情報教育や心の健康の学習なども行います。東京学芸大学附属高等学校への内部進学制度があり、毎年70～90名が進学しています。

●部活動

文化系、体育系とも多彩な部があり、週2日活動しています。

○文化系 / プラスバンド、イラスト・絵画、軽音楽、科学、文芸

○体育系 / サッカー、バスケットボール (男子・女子)、陸上、テニス (男子・女子)、卓球、野球、バドミントン

●行事

クラスごとのステンドグラス製作や合唱コンクールが行われる芸術発表会、縦割りクラスで競う運動会など、生徒自身が作り上げる行事があります。校外行事としては、中1のオリエンテーションキャンプ、地域に関する課題解決学習を行う中2のスタディ・ツアー、奈良・

京都方面への中3の修学旅行があります。中2では、1泊2日で長瀨地学実習も行われます。

25年の募集要項

※以下は2025年の募集要項です。2026年の要項は学校の発表をお待ちください。

検査日 / 2月3日

募集人員 / 男女約60名 (男子約30名 女子約30名)

合格発表 / 2月4日 (入学説明会あり)

手続締切 / 2月5日

選抜方法 / 試験科目: 国語 (40分・100点)、算数 (40分・100点)、理科 (40分・100点)、社会 (40分・100点)、自己推薦書

※国語・算数は1.5倍

※通学地域の指定あり

面接 / なし

受検料 / 5,000円

公開行事・説明会予定

【学校説明会】

9月20日(土) 10時30分～、14時～

【オープンスクール】 4年生以上対象 ※保護者同伴に限る

9月20日(土) 10時30分～、14時～

【芸術発表会(文化祭)】

10月17日(金) 12時～15時

10月18日(土) 9時～16時

【テーマ研究発表会】

11月 7日(金) 9時～12時30分

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOB・OGの声

●国立の学校は校則が厳しく、真面目な人が多いという印象を持っていましたが、実際は意外に自由です。たとえば、制服はありますが、夏は襟のある白いシャツなら問題なく、ポロシャツもOK。休み時間に、図書室に行って将棋を指すなど伸び伸びと過ごしています。